

会 議 要 録

会 議 名		平成 28 年度第 3 回 小平市青少年問題協議会
日 時		平成 28 年 10 月 24 日（月）午後 1 時 30 分～午後 3 時 10 分
場 所		小平市役所 6 階 大会議室
出席者 等	委 員	11 名（欠席者 5 名）
	事務局	子ども家庭部長、家庭支援担当課長、地域学習支援課長、指導主事、健康推進課健康推進担当係長、子育て支援課子ども・若者支援担当係長
傍 聴 人		0 名
会議 内容	1 開 会 2 議 事 （1）第 2 次小平市青少年育成プランの平成 27 年度推進状況 （2）小平市子ども・若者の意識・実態調査の調査票（案）について 3 情報交換・意見交換 4 その他 5 閉 会	
配付 資料	会議次第・席次表 資料 1 第 2 次小平市青少年育成プラン推進状況調査報告書ー平成 27 年度実績ー 資料 2 小平市の教育に関するアンケート調査（小学校 6 年生、中学校 1 年生、中学校 3 年生用） 資料 3 子ども・若者の意識・実態調査 調査項目（案） 資料 4 子ども・若者の意識・実態調査 設問内容一覧（案） 資料 5 子ども・若者の意識・実態調査 調査票（案）高校生年代用 資料 6 子ども・若者の意識・実態調査 調査票（案）学生・一般用 資料 7 子ども・若者の意識・実態調査 調査票（案）関係団体用 資料 8 こだいら職場体験わくわくワークシート 資料 9 スクールカウンセラー活用ガイドライン 資料 10 教育相談室ってどんなところ？？？ 資料 11 子ども家庭支援センター平成 27 年度相談件数 講演会「子どもの自己肯定感を高めるためのかわり方」	

○ 会議内容等についての意見・質疑応答

1 議事

(1) 第 2 次小平市青少年育成プランの平成 27 年度推進状況

委 員 資料 1 P11 の No.62 青少年リーダー養成講座の人数について、参加した人数なのか。また、人数を増やすことを検討できないか。

事務局 各講座とも登録人数である。ジュニアリーダー養成講座では定員を超える応募があるが、指導者の人数から、子どもの安全を確保して活動するには現在の規模が適正であると考えている。

委 員 青少年リーダー養成講座を受講したことで、地域との関わりがもて貴重な時間を過ごせた。

委 員 青少年リーダー養成講座を受講し、地域の方と幅広く、世代を超えて関わりがもて、視野が広がる機会となった。

- 委員 青少年委員の経験があるが、青少年リーダー養成講座の指導者である青少年委員の人数の関係上、これ以上定員を増やすのは難しいのではないかと。
- 委員 資料1 P15 No.88 青少年対策地区委員会（以下「青少対」という。）活動の支援について、市から補助金を交付しており、より多くの人が参加できるよう支援してもらいたいが、最近の補助金の動向と概要はどのようなになっているのか。
- P18 No.113 青少年薬物乱用防止対策事業の推進について、薬物乱用防止キャンペーンに中学生が参加する取組みを行っている各市の状況と、大人を通してではなく、子どもに直接働きかけていくことが必要と考えるが、小平市でも今後中学生の参加を促す考えをお聞きしたい。
- 事務局 青少対への補助金の交付については、近年は横ばいの状況である。補助金は、児童数や前年度の事業費も考慮して算定するが、団体間で大きな差がつく算定方法ではない。補助金の増額は難しい状況にあるが、現在の支援の水準を保ちながら、進めていきたい。
- 事務局 薬物乱用防止キャンペーンについて、他市の状況はつかんでいない。今年度は、成人式でのキャンペーンを予定しており、今後上げていくことを考えている。中学生の参加については、検討していきたい。
- 委員 青少年リーダー養成講座について、シニアリーダー養成講座は、年齢層の幅があり、世代間の交流をどのようにしていったらいいのか青少年リーダーの中で考えている。青少年リーダー養成講座から派遣という形で青少対の活動に参加しているが、学校生活との関係で参加できないことがある。青少年リーダー養成講座の中に青少対の行事を組み込んでいければ、より両者が連携していけると思う。
- 事務局 講座の運営については、青少年委員、青少年リーダーの意見を聴きながら、検討・改善を行っていきたい。
- 委員 資料1 P15 No.91 小・中学校へのカウンセラー等の派遣について、スクールカウンセラーとスクールソーシャルワーカーの連携が非常にとれていると感じる。スクールソーシャルワーカーを小学校にも配置してほしいが、配置についての予定はあるか。
- 事務局 各学校からもスクールソーシャルワーカーの配置の要望があるが、今のところ予定はない。

(2) 小平市子ども・若者の意識・実態調査の調査票（案）について

- 委員 資料5 問28 放課後の過ごす場所の選択肢について、高校生の時に公民館で過ごすことが多かったので選択肢に公民館を追加しては。
- 委員 資料5 問17 と問18 について、学校に通っている人の質問であると思うが、学校にいない人にも聞いてみてもよいのでは。
- 資料6 進路・就業・職業の項目に関して、就業はしているが生活が困難である人もいるため、就業しても困っているといった項目があってもよいのでは。

- 委員 資料5 問34の質問で学校や仕事以外の自由な時間というところがわかりづらい。捉え方によってちがってくるので工夫をしてみては。
- 委員 資料6 問30 仕事を選ぶ際に重視する質問の選択肢について、勤務地で就職を決めている人がいるので働く場所といった項目を追加してみては。
- 委員 資料5 問45の質問について、学生・一般用にも入れ、大学生の動向も見てもよいのでは。
- 委員 資料5 問11 朝食の摂取状況の質問について、ドリンク類やサプリメント等のみの摂取は、朝食とみなさないため質問の仕方を工夫してみては。

2 情報交換・意見交換

- 委員 多摩地区保護司連絡協議会で青少年の問題に対する取組みの発表があった。東村山市では、非行を未然に防ぐことを目的に、PTAや民生委員児童委員、警察などの関係団体と定期的に研修会や連絡会を行っているという意見発表があった。
- 委員 SNSでの子どもたちのやりとりは、自分の立ち位置を確認するものではないかと思う。自分の価値観がしっかりしていれば、SNSなどのトラブルをさけられるのではないかと感じた。
- 委員 成人式実行委員会に参加したことがあるが、新成人の参加を増やすために毎年実行委員が努力しているが、なかなか参加者を増やすことができない。周りの大人からも成人式への参加を促して多くの人に祝ってほしい。
- 委員 大人が子どもたちの見本になっていないと感じる。子どもたちに夢を与えることができていない。就業の問題が一因ではないかと思う。就職しても生活が困難である人もいる状況があり、大人ががんばってもどうしようもできない社会になってきているのではないかと感じる。
- 委員 大学で教員になるための勉強をしている。教員を目指すきっかけが、青少年リーダー養成講座と職場体験での経験だった。この2つの事業は、自分の人生に大きく関わったものとなった。
- 委員 下校時に知り合いの小学生に会った時に、先生や親に相談した方がよいと思う内容の話をしていたが、相談しないといていた。子どもたちの中では、これは相談しなくてはいけないことといった認識をもっていないのではないかと感じた。
- 委員 スクールカウンセラーについて、保護者から姿が見えないと感じている。もっと保護者と交流できる機会があればよいと思う。
- 委員 最近流行していたRSウイルス感染症は、減少傾向にある。感染性胃腸炎は例年どおりとなっている。インフルエンザは、まだ流行していない。生食による食中毒が報告されているので、注意してほしい。ノロウイルスでは、感染者が手洗い不十分で2次的な感染を引き起こしているケースがある。手洗いを十分にすることを心掛けてほしい。

委 員 昨今の少年犯罪は、減少している。状況はよくなってきているが、小学生の万引き等が増えてきている。家族にも問題があるケースがあり、生活指導も難しい状況がある。SNSの犯罪も増えてきている。いじめや誹謗中傷なども多い。

委 員 青少対一小地区のファミリー運動会を開催し、多くの参加をいただいた。イベントは大人が楽しまなければ、子どもたちも楽しめない。イベントの中で、このイベントは地域のコミュニケーション作りだと話をした。コミュニケーションで大事なことは、まず挨拶である。子どもたちには、挨拶が大事であると話をしている。通学路での声かけ運動では、最近、子どもたちの方から挨拶をしてくれるようになった。